

風しん予防接種の拡充を提案する



齋藤 成宏 議員 (民主党)

町長 現段階での予定はない

質問 昨年から続く風しんの流行は、今後、さらなる患者数の増加と長期化が懸念されている。住民に最も身近な自治体である町としても、予防接種についても、対象となる接種期間や助成金の額などについて、拡充する方向

で見直す段階にきていると考えるが。

町長 町では、母親や父親になる人を対象に、25年4月から、費用の一部助成制度を時限措置した。現在までの利用者、男女あわせて58名となっている。罹患者の推移を見ると、西多摩地域は低い値となっている。男性には25年9月末日まで、女性には26年3月末日までを期限とし、拡大防止を目的とした緊急措置であり、現段階で期間の

延長や助成額の引き上げ予定はない。引き続き情報収集に努め、状況に応じた対応を心がけていく。

こんな質問もありました
冠水注意箇所の情報配信を進めるべき

町長 国・都・警察と情報伝達手段の構築について検討していく。

青少年健全育成に配慮した携帯電話端末等の推奨について

教育長 安全教育を進めるよう各学校に指導している。



風しん予防接種啓発のパンフレット

狭山池上流部の水量増加対策は

高水 永雄 議員 (自民新政会)



町長 調査研究を急ぎたい



狭山池上流部の風景

質問 町では、平成24年3月に狭山池上流部、狭山神社周辺、新郷土資料館と狭山丘陵の自然環境資源を結ぶ「仮称」水・緑と観光を繋ぐ「回廊計画」を策定した。この計画は、来町者の増加や回遊性の高まりにより観光の振興を計り、魅力ある町づくりを目指している。しかし、現状の狭山池上流部の水量では計画の柱の一つである「水の確保」が期待できないため、水量増加対策を検討すべきと考えるが、町長の所見を伺う。

町長 狭山池上流部の水源確保については、自然を生かした形で水辺環境の整備を行いたい。現地の土を掘ってみると、浅くても水がにじみ出る様子を確認しているが、水量などは今後専門家による推計も必要になるものと考えられる。水量増加対策が施せるものかどうかを含め、具体的な整備手法や水辺環境の整備などについては、国や都など関係機関との協議も必要となる。

できるだけ早い時期に結論を得られるよう、今後も調査研究を急ぎたい。

使用済み小型家電リサイクル事業の推進を

下野 義子 議員 (公明党)



町長 効果的に進めるためには検討を重ねながら実行に移すべき



リサイクルプラザでの作業の様子

質問 小型家電には鉄や銅、金や銀のほか「レアメタル」といわれる希少金属など様々な有用金属が含まれている。しかし、使用済みの小型家電の多くは埋め立て処分されるなど、リサイクルされず、有効に活用されていないのが現状である。そこで「小型家電リサイクル法」に基づき、有害物質を含む小型家電の適正処理、有用金属の再資源化、廃棄物の削減を図れる「使用済み小型家電リサイクル事業」を推進すべきと考え、町長の所見を伺う。

町長 この制度は、限りある資源を有効に活用し、生活を豊かにし、環境負荷を軽減することを求めている市町村にとって、望ましいものがあり、この制度が定着することを願う点では相違はない。しかし、この法律では、地元自治体の実情を聞くことなく、計画が進められる可能性があるなどの懸念がある。この制度を効果的に進めるためには、広域的対応を念頭に、検討を重ねながら実行に移すべきと考えている。

こんな質問もありました
救急情報ネットワークスの導入を

町長 現時点で導入は困難。

特定健診時にピロリ菌検査の導入を



小川 龍美 議員 (公明党)

町長 検査項目の追加は考えていない

考えていない

質問 わが国では、年間5万人が胃がんによって亡くなっている。その大きな原因がヘリコバクターピロリ(ピロリ菌)といわれており、感染者数は3、500万人にも上るとみられている。ピロリ菌検査は血液を採取し、ピロリ菌感染の有無と

胃粘膜の萎縮度を調べるもので、胃がん発症のリスクを判断することができ。現在、町ではバリウム検査が行われているが、特定健診時に、採血によるピロリ菌検査を行う方が効果的と考えるが。

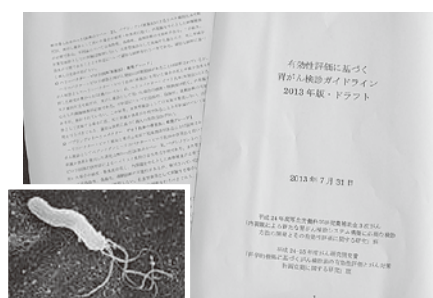
町長 24年第1回定例会で、町は「厚生労働省の指針に基づき、5種類のがん検診を実施しているところであり、ピロリ菌の抗体検査を検診に追加することは考えていない。」と答弁したが、現在も、この考えを変更すべき新たな事実はないとの認識から、検査項目

の追加は考えていない。ただし、今後、国立がん研究センターのがん検診ガイドラインに変更が生じた場合、その時点で対応を改めて考えたい。

こんな質問もありました
猫の避妊・去勢手術に助成制度の創設を

町長 効果の予測が難しく、現時点では創設する予定はない。

災害用非常食の賞味期限内での有効活用を
町長 夏祭りなど地域のイベントでの活用を検討。



ピロリ菌と胃がん検診ガイドライン